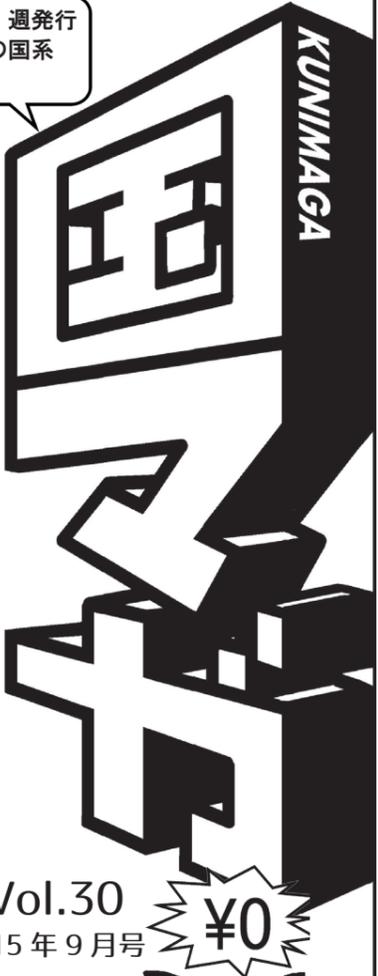


特集「秋の夜長はTSUTAYAで映画探し」

毎月第1週発行
こどもの国系
情報誌!



TSUTAYAに行けば何かあるかも

◆最近、映画を探していますか？

TSUTAYAに行くと、DVDに取り囲まれて、どの作品を借りてきたのか分からなくなることってありますよね？ そんなときはムリに思い出すとせず、作品との偶然の出会いを楽しみましょう。この町のTSUTAYA（正確には蔦屋書店青葉奈良店）はなかなか立派で、在庫も多くて迷う楽しさがあります。

◆TSUTAYAができる前はタイヘンだった…

今でこそ、TSUTAYAがあつて、レンタルDVDを気軽に借りて観ることが出来ますが、二〇〇七年の開店以前は、この町の映画好きはちよつと苦労をしていました。ある人は、わざわざ青葉台のTSUTAYAまで行かねばならなかったり、またある人は、成瀬のGEOまで通っていたものなのです。

さらにさかのぼると、ソフトはビデオの時代で、住吉神社の前には無人の全自動のレンタルビデオ屋なんてのもありました（今、考えると超ハイテク!!）。よく巻き戻さないで返却して、注意されていましたね。

◆映画の愉しみは鑑賞前後

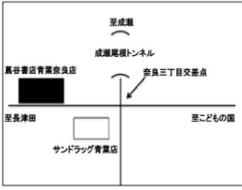
最近では映画というと、ソフトを借りるだけではなく、ネット配信や有料チャンネルといった方法があります。これは借りたり返したりする必要がなくてかなり便利ですが、映画の愉しみって、「あれ観ようこれ観よう」と迷う時間、そして「あれは良かったダメだった」という感想タイムだったりします。「後1枚借りればレンタル料の値引きになるのに観たいのがない」とか、「店長オススメ」とかテキトーだろ!!」とかもありますね。

今回の特集では、各執筆者、いろいろ悩んで、思い入れの作品を紹介しています。これを参考に大いに迷ってください。



蔦屋書店青葉奈良店

【住所】〒227-0038 横浜市青葉区奈良3-21-1
【電話番号】045-960-0036
【営業時間】朝09:00～夜11:30
年中無休 ※営業時間外返却BOXあり
【駐車場】あり (2階は80台の無料駐車場)

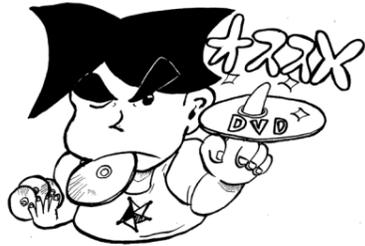


Vol.30
2015年9月号

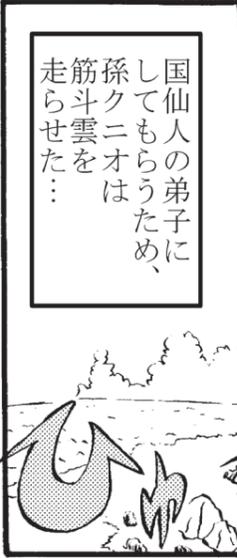
¥0

国系情報誌 DRABALL

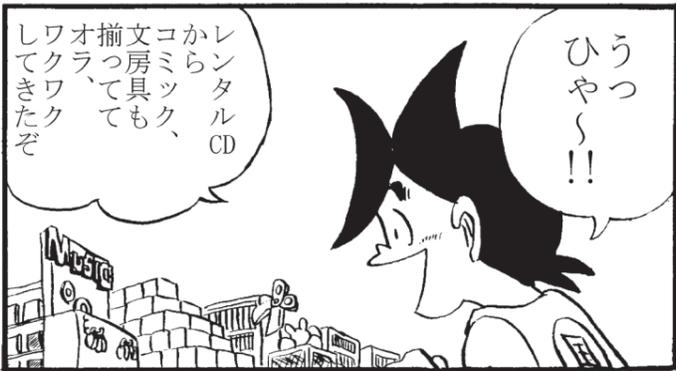
加藤シュンスケ



あれが「れんたる」ってDVDショップか



国仙人の弟子にしてみらうため、孫クニオは筋斗雲を走らせた…



レンタルCDからコミック、文房具も揃ってワクワクしてきたぞ



ひやっ!!



これだけ揃っただけでもみれつぞ

ひやあ〜とっけな〜



なんだそれ食いもんか?

Tカードですか?



ふん、いいかなんて



でもそいつ強そう

ぴちぴちギヤルの映画と言ったじやろ!!



なんじゃこれは!!



おっ! 待って! いたぞ!

借りてきたぞ!!

野球映画考「もしドラ」って面白いの?

先日、仕事のイライラが募って、気晴らしに神宮球場へナイターを観に行くことにした。

8月21日のヤクルト・中日戦だったが、実はどっちももひいきのチームじゃない。というか、とくに好きな球団はないし、ふだんテレビでも熱心に野球の試合を観たりしない。そのくせ、球場へ行くなんて考えたのは、こは、とても開放的で気持ちの良い場所だからだ。

この日はラッキーなことに、涼しい風がライト側から通り抜け、それで上機嫌になって、ビール2杯とレモンサワーを飲み、チキンカレー、コロッケ、アメリカンドックを平らげた。イライラするたびに神宮に行っていたら、即メタボである。

「マジ、××さんの仕事は、もつと認められるべきですよ」
外野自由席上段は、同じくうっふんを抱え、球場を居酒屋にしている人達が集まっていた。

「しゃーない、会社なんて所詮、送りバントじゃなくてホームランが評価されるんだ……」
会話には自然と野球用語が混ざってくる。

ひいきのチームがなくとも、野球観戦が楽しいのは、誰もが自分のではない人。女性やマイノリティが活躍する作品もあるってこと

生の何かしらを、ゲームに重ね合わせられるからだ。そんなこともあつてか、野球を題材にした映画は、他のスポーツと比較できないほどの量がある。

わが町の蔦屋書店のレンタルコーナーを覗いてみよう。やはり、『メジャーリーグ』（ベースボールの最弱球団が勝ち上がった）



コラム 育ち 引込線



て行く話」とか、『オールド・ルーキー』（35歳高校教師、転職先は…野球選手）とか、お馴染みの作品がそろえられている。

これらは、B級っぽさがあるかもしれないが、共通して「中年男が自信を取り戻す」話で、疲れたサラリーマンが大好きなヤツである。いや、もう主食かもしれない。

例えば『がんばれベアーズ』は、主人公が女の子だし、終盤の体の小さな控え選手のメキシコ系男子が打席に立つ場面はかなり泣ける。あと、女子野球リーグを描く『プリティ・リーグ』なんてもあった。

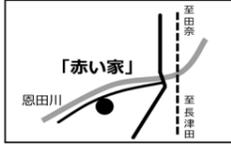
で、このなかで、『42〜世界を変えた男〜』はイチオシ。これは、黒人初のメジャーリーガー、ジャッキー・ロビンソンの半生を描いた作品である。黒人への蔑視がハンパじゃない時代、主人公は試合で敵チーム自チーム（!）双方からイジメのようなプレーにさらされる。が、それとにたく耐える耐える。炎天下の高校球児かかってぐらに耐える。すると、ジャッキーは徐々に結果を出し始め差別を乗り越えていく。ここで、野球の良さって誰もが自由に参加できるところだよな! と私は大きくうなずくのである。オススメです。

と、洋画ばかり挙げるのもバランスが悪いので邦画も何かないかと、今さら『もしドラ』を手にとったが、パッケージを覗いて、旧作レンタル代もつけない感じがしてやめた。観た人は感想を教えてください。

アートスペース 赤い家



横浜市緑区長津田 2-46-13
045-507-3477
とし田美津夫ホームページ
http://www.mitsuotoshida.com



◆赤い家のあり方
とし田さんが赤い家を開いたきっかけの一つは、ニューヨークでノンプロフィットギャラリーに感銘を受けたことです。ノンプロフィットとは非営利を意味し、ギャラリーの運営は寄付などで支えられます。まだまだ日本では馴染みがないのですが、商業的でない作家や、若い作家にとつて重要な活動の場になります。この場を通じて、アーティスト達が活発に交流し、赤い家から新たなアートを生み出していきたいと、とし田さんは考えています。いずれはカフェとして地域の方がいつでも立ち寄りアートの触れられる場所にもしていきたいとの展望も語ってくれました。

◆アートは街と関わりあう
赤い家は、とし田さんが委員を務める「都筑アートプロジェクト」の拠点にもなっています。このプロジェクトは港北ニュータウンを舞台に、展示会やワークショップによってアーティストと住民が地域の未来とアートの新しい可能性を探ることを目的としています。その一環として10月4日(日)から約1ヶ月の間、センター北駅の大家・歳勝土遺跡公園をメイン会場に据えて「ニュータウン♡(ラブズ)ゴースト 遺跡とアート展」が開催されます。ゴースト(オバケ)は人の想像力が生み出すもの。そこで人間の想像力の根源を「ゴースト」と捉え、そこから生まれる様々な表現を、彫刻、インスタレーション、絵画、アニメーション、ライブ、パフォーマンスなどの形で、街中と遺跡公園に展開します。プロとアマ、子ども達の作品が芸術の秋を盛り上げます。開催されたら是非足を運びたい秋のイベントになりそうなので、今から楽しみですね。



◆川沿いのアートスペース
田奈駅より6分、のどかな恩田川沿いに、壁も赤色、屋根も赤色の一風変わった建物があります。その名は「赤い家」。ここは長津田出身のアーティスト・とし田美津夫さんが開いたアートスペースです。長年ニューヨークで活動していたとし田さんの新たな活動拠点として昨秋にオープンしました。今までにこの赤い家では作家の個展や学生の演劇などが催されたそうです。今後はどのようなアートが見られるのかとても楽しみです。

短編小説

二の母の記憶

安原マヒロ

やらぎ

屋下りのテレビでは、たどたどしさが自分の個性とでもいった様子の女子アナウンサーが、この夏の映画ランキングをささやいていた。そういえば、映画というものを、めつきり観なくなった。映画館はおろか、レンタルビデオ屋に最後に行ったのはいつだろう。かつて、それなりに観ていた気がする映画、そこに使っていた時間はどこにいったのだろうか。

人より遅めにとった夏休みだったが、家族も彼女も旅行の予定もない俺は、二日目に時間を持たせてあまっていた。ソファに寝転がっていると、クーラーのインバーターの音が、頭の中でぐるぐる膨張した。スマホはこの滞留にはあまりに閉塞した存在で、液晶を見てみると脳が腫れあがる感じがしたので、無力だった。仕方なしに俺は、玄関を開け外に出た。全身の穴をふさぐような熱気がアスファルトから登ってきた。内勤の俺には、久々の感覚だった。

この町に越してきて一年経つが、平日の昼間の風景を見るのは初めてかもしれない。ベビーカーを押した女や、自転車の子どもたちなどは、しばらくその存在を忘れていたものだった。俺の足は自然と、本屋に向かう。昔から、こういう日は本屋に行くものと決まっているのだ。そのことを、久しぶりに思い出した。

家から五〇メートルほどのところにある本屋の客は、もともととした老人ばかりが数人いるのみだった。俺は雑誌の陳列棚に立ち読みをしてみる。昔、確かに好きだったはずの、サッカー、車、ファッション、それらの雑誌をめぐって、何が書いてあるのか良くわからなかった。

俺の足は自然と奥のレンタルビデオコーナーに向かうが、一歩すすむごとに怖さを憶えた。もし、たくさんのDVDが並んでいるコーナーでも、何ひとつ興味を持ってなかったらどうすればいいのだろうか。まるで自分が、一日一日を糸車のように回し続けるだけの人間であると、確信してしまわないだろうか。確信したからと言って、なにかひどいことが起こるわけではないだろう。しかし、良いことはもう起こらない気がする。

DVDの棚の角を折れる。人がいた。若い男女がゆれていた。二人は俺の姿を見て、すぐに身体を離れた。男の手が、女のスカートをめくりあげながら離れ、白い太ももが少しずつ消えた。二人の口元には照れであろう笑みが浮かんだけれども、それは嘲笑の軌跡を残したようにも思えた。二人は俺に背を向け、棚の外へと去って行った。

二人のいなくなった場所は、ふたたびいつもの怠惰な時間が動き出していた。俺は、男女が残したものを見つけた。ケースから出されて、棚に置かれた映画のDVDだった。『存在の耐えられない軽さ』と書かれていた。何か、忘れたくないものが今そこにあつた気がしたし、それはいま、俺の手元にある映画に引き延ばされていることは、間違いなさそうだった。

今回は、僕のオススメDVDを紹介します!!

MAD MAX サングラドーム (1985) 三作目の『MAD MAX サングラドーム』は、ファンが別れる評価が別れる珍作です!!

MAD MAX 2 (1981) ファンが最もシリーズ最高傑作と呼ぶ声が高い名作です!!

MAD MAX (1979) 僕のオススメは、最近20年以上ぶりに新作が公開されて話題になった!!

狂気に満ちた暴走族を心配いけど、相棒を殺されて復讐に燃えたマックスは、もっと恐い!!

近未来のオーストラリア...凶悪事件を起す暴走族を相手、メル・ギブソン演じる警察官マックスが立ち向かう...

最終盤の敵勢力カとのカーチェイスは、狂気の手に汗にぎり、ズボンもぬれる名作です!!

たくさんのキッズがマックスの周りにいたり、変なドームの中でマッチと戦ったり、

しかし、やはり暴走した世界観は、ミラクル的!!

そんなマックスを、ぜひ見てみては?

国マガ編集BOOK 『THE こどもの国』発売決定!

★特集は全国の「こどもの国」を回って来たレポート関東編!
★おぎぬまXがレポートする関東こどもの国行脚番組DVDが付属!
★2014年4月～15年3月の『国マガ』の漫画、小説、コラムをまとめて掲載!
★こどもの国周辺のお店情報たっぷり!

■こどもの国地区
・コンビニ「スリーエフ・こどもの国駅前店」
・パン「MONT」
・カフェ&ランチ「おぐに」
・歯科「こどもの国歯科」
・そば「なごみ」
・イタリアン&バー「Bacchus」
・コーヒー「GRIVE」
・ケーキ&喫茶「セントボーリア」
・焼肉「炭火焼肉はち」
・カフェ/カレー「なつうめ」
・板金/塗装「井組自動車工業」

■奈良北地区
・ハム/ソーセージ「シャッターシケンかくれ工房」
・本/文具「昭和書房」

・パン「Coonie」
・とんかつ「かつ元」
・接骨院「日本鍼灸接骨院」

■青葉台地区
・パン「COPPET」
・ラーメン「246亭」
・接骨院「あつぶる鍼灸接骨院」
・美容室「カットクラブKOGA」
・BAR「Soul Cocktail's AOBADAI」

■田奈地区
・不動産「太平プラン」
・アートスペース「赤い家」

■町田市
・古着「ULTRABO」

STAFF

加藤シュンスケ (代表) 会社員 / イラストレーター (@kato_two)
皆様のご支援により、『THE こどもの国』は素晴らしいものになりそうです。そうそう、特典としてDVDが付いてきますが、こちらは本誌を上回る程のおもしろさです。YouTube → 「国マガ」で予告編が見れますよ。

サリー志村 (編集長) 編集者 (@shimamuramasari)
先日、初めてすっぽん鍋を食べました。カメかあ、とか思っていたのが美味しかったです。ただ、前日にたまたま映画『ミュータント・タートルズ』を観ており、ちょっと申し訳ない気分になりました。

オオキ 長男 (@OhQute)
クラウドファンディングプロジェクト無事目標達成! たくさんの方に「THE こどもの国」制作の支援をしていただいで感動です。10月刊行予定ですのでお楽しみに! 一番最近見た映画は「呪怨(ビデオ版)」です!

おぎぬまX 元芸人 (@oginuma_x)
今回紹介した映画の最新作『MAD MAX 怒りのデスロード』はファンの期待を裏切らないブッチギリにエキサイティングな超大作でした。僕は劇場で三回観ましたが、毎回手とお尻が汗でビッシヨリでした。

安原マヒロ ウェブ編集/ライター (@MahirOrihaM)
社会人になってから映画を観る時間を確保するのって、意識しなきゃとれないですね。映画をこれからもずっと楽しむためには、映画好きの近くにいることが大切かも。

★誌面広告、スタッフへのお仕事の依頼も受付中!

こどもの国系情報誌「国マガ」Vol. 30
発行日 2015年9月5日
編集 安原マヒロ
連絡先 kunimaga920@gmail.com
ホームページにてバックナンバー配信! → http://kunimaga.jimdo.com/

Facebook twitter
Twitter ID @kunimaga920